

## 一般国道229号 島牧防災事業について（議事要旨）

日 時：令和8年1月29日（木） 10時30分～11時30分

開催方法：対面

委 員：北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授 蟹江 俊仁（座長）

北海道大学大学院 工学研究院 環境循環システム部門

国際資源環境システム研究室 特任教授 藤井 義明

ノーステック財団 幌延地圏環境研究所 所長 五十嵐 敏文

NPO法人 北海道総合地質学研究センター 理事 川村 信人（欠席）

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

研究調整監 西 弘明

### <議事要旨>

- ・島牧防災の現在の進捗状況について確認した。
- ・島牧防災の事業計画の見直し内容について妥当性を確認した。

### (主な意見)

- ・新穴渓トンネルの掘削土のうち、要対策土を旧道トンネルに埋め立てる計画は良い発想である。現在の計画では要対策土量が当初想定より増加した場合でも旧道トンネル内で対応出来るということは理解した。
- ・新穴渓トンネルの掘削土（要対策土）を旧道トンネルに埋め立てるにあたり、事前に調査を実施し、ひび割れや漏水が無く健全性を確認していることについて承知した。
- ・基準等改訂に伴うトンネル断面や使用材料の変更、現地調査結果による重金属対策等の変更、資機材・労務単価変動の影響による事業計画の見直しについては、当初に予見することは困難であり、やむを得ないと考える。

以上